

高根沢町長 加藤 公博 様

高根沢町議会議長 神林 秀治

「若手農業者と議員とのカフェ・ド・ギカイ」からの提言

令和 5 年 2 月 8 日に開催した「若手農業者と議員とのカフェ・ド・ギカイ」において、「これからの農業の在り方」というテーマで高根沢町青少年クラブ協議会会員と意見交換をしました。

そこで出された意見を町づくりに反映させていただきたく、町に対し次の提言と要望をいたします。

記

■提言

①町内一斉野しば焼きの複数日実施

土地利用型の農家は経営安定のために規模拡大を行っており、耕作している田畑の畦畔の野しば焼きを一日で終わらせることが困難になってきている。

また、高根沢町火入れに関する条例などもあり、一人で実施することも難しい。

そのため、高根沢町農作物広域共同防除事業協議会で実施している町内一斉野しば焼きを複数日実施するよう、協議会の構成員である町から提案すること。

②高根沢町園芸作物推進支援事業費補助金の対象施設の拡充

町では園芸作物の振興のために、パイプハウスやその付帯設備の整備に補助金を交付しているが、新規就農や規模拡大のみが対象である。

事業継承や長期の農業経営の農業者は、必要な設備の更新費用が大きな負担となっていて、経営を継続することを難しく感じているようである。

当補助事業に更新施設も対象とすること。

③高根沢町青少年クラブ協議会補助金の充実

高根沢町青少年クラブ協議会では、様々なイベントに参加して本町農業のPR活動を行いたいとのことから、町青少年クラブ協議会補助金については、活動に係る経費など、会員の意向を反映した予算措置とすること。

■要望

今回のカフェ・ド・ギカイでは、圃場の状態に関する要望が多く、そのほとんどは土地改良区が対応すべきものでした。

つきましては、町から町内の土地改良区に対して、農業者からの意見があったこと、その意見に対し丁寧に対応することを、申し伝えて欲しい。